

ワールドマスターズゲームズ 2024 年度 事業計画

I. 基本方針

1. 2023 年度の取組の概要（詳細は決算理事会等で報告予定）

- ・「WMG 関西セミナー」を IMGGA（国際マスターズ協会）セルゲイ・ブブカ会長の来日に合わせ 5 月に開催した。（11 月にも 2 度目のセミナーを実施した）
- ・12 月に「WMG 関西推進議員連盟」を 4 年ぶりに開催し、参加議員等に大会成功に向けた国を挙げての機運醸成と、これまで以上の支援の要請を行った。
また、議員連盟から文部科学大臣あて「要望書」の手交を行った。
- ・大会の支援関係先（関係省庁、国会議員、共催団体、協賛企業等）に対して訪問のうえ広報活動を行い、知名度の向上と機運醸成を働きかけた。
- ・WMG2025 台北・新北市大会との連携を図るため、台北・新北市組織委員会と協議を重ね、両大会成功に向けた機運醸成や参加者確保策に取り組むとともに、2024 年 2 月台北・新北市組織委員会の来日にあわせ、連携協定を結んだ。
- ・各実行委員会等における関西圏域内での取組に加え、全国各地のスポーツイベント等を通じた広報事業を「ウオームアップ ジャパン フロム WMG 関西」とし展開するなど、国内における機運醸成等事業を実施した。
また、SNS を活用した海外における大会広報事業にも着手した。

〈参考資料：別添〉

※ 組織委員会、開催府県市、関西広域連合の取り組み（4 月から 10 月）

※ 海外参加者確保の取り組み

2. 2024 年度の取組方針

- ・2023 年度に引き続き大会機運の醸成に向けた取組を継続し、スポーツ振興くじ助成金を活用して国内・海外の類似スポーツ大会での PR を実施するなど事業内容の拡充を図る。また、海外向けの大会広報事業の拡充を図る。
- ・2025 年度からの大会準備作業の本格的な再始動、誘客に向けた重点的な事業展開を念頭において、限られた財源の効果的な活用の観点から競技運営・大会実施方法の全面的な見直し作業に着手する。
あわせて誘客戦略事業（海外 2 万人、国内 3 万人の参加者獲得）を実施する。
- ・上記の業務を現事務局体制（事務総長以下総勢 9 名）で実施する。

II. 2024年度の事業内容及び予算

1. 事業内容

(単位：千円)

全体事業費 182,175 {前年度 160,827 (+21,348)}

(1) 大会の機運醸成、参加者確保 125,375 {前年度 113,875 (+11,500)}

大会の再延期に伴って準備期間が長期化する状況下においても、大会の機運醸成に向けた取組を展開することで、ワールドマスターズゲームズの本旨である「生涯スポーツの振興」「参加者同士・参加者と地域との交流やスポーツツーリズムの実現」を目指す。

① 国内における取組 60,011 {40,427 (+19,584)}

○国内スポーツ大会における広報 9,056 {4,927 (+4,129)}

国内大規模スポーツ大会や WMG への参加が見込まれる大会において、PR ブースを出展するなどの活動を行う。

- ・国民スポーツ大会・全国障がい者スポーツ大会 (10月 佐賀県)
- ・日本スポーツマスターズ (9月 長崎県)
- ・ねんりんピック (10月 鳥取県)
- ・神戸世界パラ陸上 (5月 神戸市)
- ・大規模市民マラソン大会等 (神戸・京都・大阪マラソン、他)

○日本スポーツ協会、日本パラスポーツ協会等による大会の広報

5,200 {5,200(±0)}

- ・中央競技団体、地域競技団体への WMG 広報の働きかけ

各中央競技団体 (NF) の協力を得て、地域競技団体 (PF) による WMG の広報活動を展開する。

〈NF の取り組み〉

- ・PF への周知徹底 (NF が開催する理事会、総会、担当者会議等を活用)
- ・PF への広報、PR 取り組みの依頼等

〈PF への取り組み〉

- ・PF 関係者及び地元競技者等への広報
- ・主催競技会等における WMG 組織委員会後援名義の付与、協議プログラム等へのロゴ掲載の協力
- ・日本スポーツ協会、日本パラスポーツ協会が発行する機関誌等へ広報記事掲載

○「ウオームアップ ジャパン フロム WMG 関西」の推進 30,000 {30,000 (±0)}

- ・全国各地でのスポーツイベント等を通じた WMG ムーブメントを創出する。

(一般社団法人アスリートネットワークへの委託事業：年間30回程度開催予定)

○「WMG 関西セミナー」等の開催 (年間2回) 15,755 {300 (+15,455)}

- ・スポンサー企業や大会関係者等に対し、大会開催に向けた準備状況やこれからの取り組みを発信するとともに、成功に向けた協力を要請する。

(関西スポーツ月間の5月と秋ごろに開催予定。)

- ② 海外における取組 22,604 {25,750 (-3,146)}
国際マスターズ協会や国際競技連盟(29団体)と連携した海外スポーツ大会等における広報や、Google 広告等を活用した取り組みを行う

- 海外類似スポーツ大会等における広報 [10,604 {13,750 (-3,146)}]
(主に委託業務で実施予定)

WMG と同趣旨で開催される世界各地のマスターズスポーツ大会に「2027 関西大会」の PR ブースを出展するなどの活動を行う。

- ・イギリス(スポーツアコード2024 バーミンガム 4月)
- ・アメリカ(パンアメリカンマスターズゲームズ2024 グリーブランド 7月)
- ・オーストラリア(パンパシフィックマスターズゲームズ2024 ゴールドコースト 11月)
- ・2025開催のWMG台北&新北市大会との連携(通年)

台北&新北市で開催するPRイベントに共同でブース出展し、連携大会をPR。

- Google 広告等を活用した広報 12,000 {12,000 (±0)}

Google 広告を活用し、「2027 関西大会」を世界に幅広く周知するとともに、公式 SNS アカウント(Facebook、Twitter、Instagram)で随時発信。

〈Google 広告〉

- ・現在はオセアニア地域及びオーストラリアで展開中。
- ・来年度は、パンアメリカンマスターズが開催されるアメリカ・グリーブランドに加え、包括連携を締結した台湾への対象エリア拡大を予定。

- ③ 多様な媒体を活用した広報 42,760 {44,328 (-1,568)}

- 組織委員会公式ホームページの再構築と維持管理 13,200 {0 (+13,200)}

- 広報用ツールの製作 29,560 {44,328 (-14,768)}

大会開催期間決定の告知とともに、大会の知名度向上や機運醸成のためのイベントにおいて掲示・配布することを目的に、広報ツールを作製する
(ポスター、パンフレット、ノベルティ等)

(2) 組織運営 56,800 {46,952 (+9,848)}

- ① 危機管理対策等 3,140 {3,140 (±0)}

組織委員会事務局保有のインターネット環境に対するセキュリティ対策を維持するなど、情報流出等の防止及びその対処を図る。

- ・システム障害・サイバー事故対応
- ・情報セキュリティ対策

- ② 法人業務・事務局運営 53,660 {43,812 (+9,848)}

事務局職員(9名)の人件費28,520千円(職員人件費10,520、業務委託費18,000)のほか、旅費交通費や事務局運営にかかる事務所借上げ費(13,200)などの事務経費を支弁する。また、公益法人として適切な会計事務を履行するため、税理士等の指導・助言を得る。

2. 予算の概要

- ① 期首残高 1,842,597 (2023 決算ベース:概算)
- ② 収入見込 86,405 (スポーツ振興くじ助成金80,000 資産運用益 6,405)
- ③ 事業支出 182,175
- ④ 期末残高 1,746,827

参 考（全体計画）

1. 今後のスケジュール

- 2024 年度 機運醸成事業等の拡充
大会運営計画、競技実施内容の見直し着手
・誘客戦略（海外2万人、国内3万人の参加者獲得方策）の実施
- 2025 年度～ 本格的な大会準備作業に着手
・海外国内誘客広報事業の加速
- 2025 年 5 月 WMG 関西大会 2 年前
※大阪・関西万博と連携
WMG 台北&新北市大会（5月17日～30日）での誘客広報
- 10 月 大会運営計画、競技実施内容の公表（エントリー半年前を目途に）
- 2026 年 5 月 WMG 関西大会 1 年前
・エントリーの受付開始 ※既エントリー者の早期受付は4月から
・マスターズゲームズアジア地区大会での誘客広報（アブダビ（UAE））
- 2027 年 2 月 WMG 関西大会 100 日前
・エントリー受付終了（2月末）
- 5 月 関西大会の開催 会期：5月14日（金）～30日（日）

2. 事務局体制

2024 年度

- ・最小人員による機運醸成事業等の継続実施（関係団体等の協力を得て）
- ・必要に応じて事務局スタッフを若干名追加

2025 年度

- ・事務局プロパー（現体制+ α ）：総務企画運営
- ・実行委員会スタッフ向けに組織委員会事務局内に十分な数のデスクを確保し、密な連携をとる。

3. 財源計画

- ・協賛企業・各府県市に新たな負担を求めないことを基本として、新たな財源確保と現有資産の有効活用等を検討する。
 - ① 現有資産（約18億円）の安全で効率的な運用
 - ② スポーツ振興くじ助成金（toto助成金）の継続した支援
 - ③ 大会参加者（5万人）確保に向けた競技日程追加や参加者枠の拡大
 - ④ 近畿宝くじ収益金活用に向けた再支援要請の検討

<財源計画（2025～2027 年度）>

a 期首残高（現有資産）	1,746 百万円
b スポーツ振興くじ助成金	280
c 大会参加料	800
d 協賛金（契約済み）	204
e 資産運用益	9
計	3,039 百万円